



# 学 校 便 り 琢 磨

第 8 号 R2. 6. 16 三豊市立詫間小学校

## 水泳の授業が始まります！

昨日、6月15日に行われた臨時三豊市小学校長会で、今年度の水泳の授業について、以下のとおり実施することが決定いたしました。

水泳学習の開始・・・6月22日（月） ※ 終了は7月31日（金）

長い間、お待たせしました。来週から、体育の授業での水泳が開始されます。学年便り等でお知らせしているかとは思いますが、水着等の準備をよろしく願いいたします。

なお、三密を避けるため、プール開きの行事は行いません。プール使用の注意点につきましては、学級ごとに指導することとします。

写真のように、教職員のみで掃除したプールには、きれいな水が満ちていて、詫間小の皆さんが、泳いでくれる日を、今か、今かと待っているかのようなようです。安全に気をつけてしっかり泳ぎましょう。



## 7月から水泳・陸上の特別練習が始まります！

放課後の特別練習に関しても、昨日行われた臨時三豊市小学校長会で、以下のとおり実施することが決定いたしました。制限のある中での練習開始とはなりますが、よろしく願いいたします。

- ・ 7月より、放課後の水泳・陸上の特別練習を開始する。本校は、7月2日（木）より開始。
- ・ 練習終了は16：30頃。下校完了は17：00を厳守。（三観地区の小学校共通）  
通学バスは17：10頃に最終バスを出す予定。
- ・ 練習は、週に3日以内。土曜日、日曜日の練習は行わない。（三観地区の小学校共通）
- ・ 本年度に関しては、5、6年生のみを対象とする。
- ・ 水泳または陸上を選択して、希望者が練習に参加する。

なお、詳しくは後日、体育の担当からお知らせします。

## 本校の新型コロナウイルス感染防止対策等について その7

- ・ マスクの着用については、前回お知らせしたように文部科学省からの通知でも、「気候の状況等により、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外すよう御対応ください。その際は、換気や児童生徒等の間に十分な距離を保つなどの配慮をお願いします。」という文言が示されています。体調や気温・湿度上昇に対する感じ方は人によってずいぶん違います。新型コロナウイルス感染防止のために、熱中症等になってしまうといった危険性も回避しなければなりません。学校では、登下校時、屋外での活動時、また、授業中でも小声で各自音読している場面、あまり話をしない活動時等では、「苦しさを感じる人」は、マスクを外してもいいと声をかけています。その他の場面でも、息苦しさをを感じる場合は、人との距離や換気が十分に行われていることに配慮し、個に応じてマスクを外すよう配慮したいと思います。他人への配慮と、自分の健康保持の両立といった難しいことではありますが、個に応じた対応をしていきたいと考えております。
- ・ 夏休み中（8/1～8/19）の全校登校日、学年登校日はありません。
- ・ 給食後の歯磨きは、1、2年は自席で、3年以上は、食事が終わった人から廊下で間隔を確保しての歯磨きを、当面の間、継続します。

習い事がクビになってしまった！—そろばん編—

前は、ピアノに引き続き、習字の塾までクビになってしまったという話を書きました。

それから2年。小学校3年生になった私は、また習い事に通うことになるのです。それは、そろばん塾でした。「二度あることは三度ある」とも「三度目の正直」とも言います。果たして両親は、どんな思いで私をそろばん塾に通わせようとしたのでしょうか。今回は、四歳年上の姉は関係ないのです。両親は、「そろばんを習うと、計算がよくできるようになるから、今度こそ、がんばって通いなさい。」と、私だけをそろばん塾に送り出したのです。今回は、これまで以上に、両親も長続きするための対策を考えたのでしょう。「大の仲良しのK君も、そろばん塾に通うと言っていたぞ。二人で一緒に通ったらどうだ！」と、きました。

そんなわけで、私は、新品のそろばんを買ってもらい、近所のそろばん塾に通うことになったのです。

そろばんがどんな物かは全く知らなかったのですが、塾に入るとパチパチ、シャー、カチャツという音、今まで経験したこともない、もの凄いいスピードで読み上げられる数字、恐ろしい程のスピードで動く指。もっとびっくりしたのは、そろばんを使わずに、指だけ動かして見事に答えを当ててしまう「エアーそろばん」をするお姉さん。とにかく、これは普通の子どもにはできないことではないと、一瞬、その場で立ちすくんでしまいました。隣にいたK君も「なあ、これは無理やな、帰ろうか？」と耳元でささやきました。私たちが見たのは、そろばん大会に向けて、必死に練習している有段者の練習風景だったのです。

その時、私とK君の姿を見つけた先生が、「はい、今日から入った子ね。あなたたちは、あっちに座りなさい。」と導いてくださり、「神」にすら見えた中学生や高校生のお姉さんの横を通り抜けて、自分たちの席らしい場所に座りました。そこで聞こえてくる音は、パチ…パチ…パチといったゆっくりしたもので、私たちは、少しほっとしました。

もちろん、最初は一番下の級の問題からやりますので、「下の玉は、『1』ですよ。3+1なら、まず、下の玉を3つ上げて、それから1つ上げると、4つ玉が上がっているでしょ？だから3+1=4ということになります。」と、小学校3年生の私たちにも、とても分かりやすいのです。あっという間に2時間が過ぎました。帰りに、「今日は、初めてだったけど、どうだった？」と先生に尋ねられ、思わず「楽しかったです。次も必ず来ます！」と答えてしまいました。

これまでのピアノと習字は数か月しか続きませんでした。このそろばんは、結構長く続けました。1年後には、そろばん4級の検定試験に合格し、大会にも出場して、何と入賞してメダルもいただきました。

しかし、順調だったのはそこまでだったのです。3級の検定試験を何度受けても不合格が続きました。10回くらい受けて、やっと合格ギリギリの得点で3級に合格できたのです。しかし、こうなりますと、だんだんとやる気が失われていき、そろばん塾には行っているものの、ぼーっと過ごしては、先生に叱られ、叱られては、ぼーっと過ごしの連続となり、とうとう、廊下に出て遊んでしまうようになりました。その遊びとは、今考えると大変なこと。何とそろばんを、ローラースケート代わりに使って遊んでしまったのです。これには、塾の先生も激怒し「もう来なくて、よろしい！」と、言われてしまったのです。とうとう、「二度あることは三度ある」という結果になってしまいました。

この3度のクビは、私にとっては苦い思い出なのですが、今、考えてみると、私に一番足りなかったことを教えてくれました。それは、「少しの壁にぶち当たると、それを超える努力をせずに、すぐにあきらめてしまうこと。そして、それは自分の問題なのに、全てを人のせいにしてしまうこと」だったのです。もちろん、それを完全に理解し、受け入れることができたのは大人（社会人）になってからなのですが。それでも、経験というものには不思議なものです。こんなに昔のことなのに、まるでその場にいるかのような感情が、今でも鮮明によみがえってきます。そして、時々、この経験が、私を叱ってくれているのです。

ちなみに、小学校5年生から習い始めた「柔道」だけは、小学校を卒業するまで、クビにならずにやり通すことができたということ、念のために（名誉回復のために）書いておきます。

